

水口岡山城跡

通信 その 4



■現地説明会を開催しました。

3月9日(日)に現地説明会を開催しました。当日は寒の戻りで、日差しはあったものの、冷たい風が吹く中、210名の方においでいただきました。ありがとうございました。

現地説明会資料は下記に掲示しました。

<http://www.city.koka.lg.jp/5743.htm>



今回の調査で対象とした場所は、主郭部(伝本丸)の東端部(寛永期の絵図で天守跡とされる場所)の南側斜面です。調査区の間部には大手道を防御するための櫓台として機能したとみられる曲輪があり、その曲輪によって上段部分と下段部分に分かれます。新聞等報道で大きく取り上げられた「推定8メートルから9メートルの高石垣」は上段部分で崩された状況を確認しました。豊臣秀吉が建てた大坂城の石垣と同じ規模で、当時の最先端技術を結集したともいえます。関ヶ原の戦い後、徳川の

時代が到来し、豊臣政権の権威の象徴であった水口岡山城を徹底的に破壊した状況も見逃せません。

さて石垣に使われた築石の大きさにも注意が必要です。城跡の北面の一部には石垣が残りますが、今回の調査で確認した石垣の石は北面の石垣よりもやや大きい立派な石を使っています。また、第1次調査で確認した枅形虎口の石垣の石よりも大きいです。城下町から見える城の正面側であり、かつ、城の中核部を形成する石垣であるため、見た目も意識したと考えられます。

現地説明会後も継続して発掘調査を行っています。ロープ越しに調査の様子がご覧いただけます。

調査日 月曜日～金曜日

お休み 土曜日、日曜日、祝日。

雨天日。ほか

現地説明会資料はこちら→

